

2013年6月14日 朝日新聞 秋

今年「兵士の体験」紹介

戦争繰り返さぬ  
千葉市民が集い  
来月6日、語り部募る

千葉市の市民が企画する「戦争を繰り返さないための集い」が7月6日に中央区のきぼーるで開かれる。千葉空襲の体験を後世に伝えることを目的に始まり3年目。語り部となってくれる人や、戦争にかかわる品の提供を主催者は呼びかけている。

千葉市は敗戦間際の1945年に数度にわたり空襲に遭い、犠牲者は900人以上に上るとされる。7月6日から7日にかけては最大規

模で、JR千葉駅前の市街地が焼失した。

そうした被害の体験を伝えようと千葉市空襲と戦争を語る会（白井進代表）とちば・戦争体験を伝える会（市川まり子代表）が共同で始めたのが「集い」。過去2回は空襲の体験を市民が証言してきたが、今年「兵士の体験」を紹介したいと企画している。「戦場を経験した人は高齢になっていますが、ぜひ体験を語ってほしい」と「語り部」を募集している。

集いに合わせて7月の3〜6日に同じ会場で「平和のための戦争展」を開催する。戦争や戦時中の暮らしを物語る品の出品を呼びかけている。

連絡は事務局の伊藤さん（080・5305・3739）。